

指導助役の異常を許さない 所長・指導科長・高塩助役は謝罪を！

東海労組合員の運転士が「再教育」を受けている。そもそも、この「再教育」は、起動時にユニットが点灯し危険と判断して停止手配をとったことが 機器取り扱い不良 とされての不当なものだ。しかし組合員は規程と技術の試験を 94 点でクリアーし、その後のシミュレーター試験を 3 回受け、結果待ちの日勤を継続している。その日勤の過程で、考えられない事態が発生した。

何と、高塩指導助役が、ノートを買って就業規則を書き写すように、と言いつつ放ったのだ。退出点呼を受けるべく、指導科に乗務報告書の確認のために行った時の出来事だが、経過の概要はこうだ

- × 今日は何をしましたか
- シートと規程をやりました
- × (少し間をおいて) 就業規則を読んだことはありますか
- 就業規則は持っていないし、読んでいません
- × ノートを買って、就業規則を書き写すようにしたほうがいい
- . . .
- × 就業規則を貸してあげますが、これは私のものですから返す時は他の助役に渡さないように

なんとも人を馬鹿にした人格も人権も否定したパワハラをはるかに超えた異常な発言だ。その性格を見事にあらわした暴言だ。

(高塩助役の暴言とは質が違うが、J R 西日本でも、就業規則の書き写しが問題にされている)

こんなことが私たちの職場で、今まさに起きている。特に最近、高塩助役の暴言が際だっている。状況を解さず、仕事が終わったら直ちに帰りなさい。学習室を覗きこんで、私語を交わしていましたね 等々数え上げればきりが無い。

**この高塩助役の異常を、わたしたち東海労は許さない！
高塩助役と、責任ある指導科長・所長の謝罪を求める！
対応によっては、東海労は重大な決意で臨むこととする**